

ありがとう Arigato

平成27年度 2年A組

長月 / 15

学級通信 54号

時には「ファジー」で

昨日、4時間目は家庭科でした。裁縫室で授業をして、裁縫セットがいると黒板に書いてあったので、きっと何か作品制作をしているのだろうなあと思います。4時間目が終わって先生が教室に行くと、案の定、誰も戻ってきていませんでした。月曜日で、給食当番も変わったところだったので、こりゃあ配膳に時間がかかるなあと思い、持ってこれるものは持ってこようと思いました。

とりあえず食器をせっせと運びました。A組は配膳室から遠いのは知っていましたが、本当に遠かったです。先生は病気で力が普通の人よりも少ないので、なかなか大変でした。でも運べないわけではないので、みんなを待つよりも効率がよいと思って運びました。別に怒っていたわけでもないし、無理をしたつもりもありません。自分にできることをしただけです。

途中で「持ちます」と言ってくれた人もいました。中には、言い方が悪いけれども何も言わずにさっと先生から食器かごを奪うように持ってくる人もいました。とても助かりました。よく気づける人だなあと感心しました。そういう気持ちが、生きていく上ではとても必要だと先生は思います。

中には、自分は給食当番じゃないからと手伝わない人もいると思います。給食当番はみんなが公平に務めるように2週間交代になっているので、当番じゃなければやらなくていいというのは正論だと思います。でも、先生は仕事はやれる人がやればいいと基本的には思っています。人の仕事を奪ってまでやるのは良くないけれど、臨機応変という言葉があるように、急な場合や人出がいるときなどはその時々でやれる人がやることでうまく回していくことが大切です。そのためには、ちょっとばたばたしているときに周りを見て、自分にできることに気づけるようになれると良いなあと思います。

ちょっと昔に「ファジー」という言葉がはやったことがありました。「あいまい」という意味がある言葉で、ちょっといい加減という感じからか、あまりいい意味では使われなかったです。けれど、今のようにすぐに誰かの責任を追究したり自分のことだけを主張したりしたがる風潮があるときこそ、「柔軟性」という意味のある「ファジー」という言葉を大切にすることも良いのかな、と少し思いました。

給食はいつも、当番ではなくても手伝ってくれている人がたくさんいます。とても助かっています。自分の仕事と他の人との仕事を柔軟に考えて動くことができているなあと感心します。給食に限らず、そういう動きが増えていくと良いですね。

